

安倍首相、この平和の声を聞け！

7月1日、大阪平和行進の難所と言われる 河内長野市市役所～富田林市役所～羽曳野

市役所までの午前中コースのレポート

◆河内長野市～富田林市～羽曳野市コース

東京～広島コース大阪府内国民平和行進の2日目、7月1日は、「大阪平和行進の難所」と言われるほどのロングコースです。河内長野市市役所～富田林市役所～羽曳野市役所までの午前中コースが長く、特に富田林市役所から羽曳野市市役所までは、休憩なしの2時間10分行進です。7月1日は、安倍首相が「集団的自衛権の行使容認を閣議決定する日」と言われており、平和行進参加者は、羽曳野市に到着するころには例年より多い300名近い行進となりました。

市長や議長からのメッセージでも「集団的自衛権の容認を今性急に決める必要があるのでしょうか」など、安倍政権の暴走に批判の声が続きました。藤井寺市役所から松原市役所までは、松原市の「ぞうれっしゃがやってくる」合唱団のバンジョー、ピアノに合わせての平和の歌声が響きました。

これに合わせて、ニーニョさんのリズムカルな太鼓が入り、楽しく元気な国民平和行進になりました。府内通し行進者の北川恒雄さんは、羽曳野市役所前の挨拶で、「今、安倍内閣はクーデ



ターの暴挙をや

ろうとしています。この平和行進もマラヤさんやニーニョさんが参加して国際的なものに発展し様としており、私たちの運動は前進しておりこのことに確信をもってがんばりましょう」と訴えました。



フィリピンからの若い青年、マラヤさんとニーニョさんが連日、大きな拍手で迎えられています。マラヤさんは、昨年東京～京都まで行進しており、スピーチの半分はもう日本語で話せるようになっています。7月5日には帰国し、世界大会に再度、お母さんのコラソンさんと来日する予定です。ニーニョさんが驚いたのは、「男同志が下着も全部とって全員で風呂に入るのにビックリ」と、初めての日本の体験を語り、みんなを笑わしています。兵庫県を歩いて、岡山県を二日間行進して、また7月17日には大阪に帰り帰国する予定です。

(2014年国民平和行進「大阪実行委員会ニュース」№5 7/2より)